

とちぎ米産地だより【4月号】

<25年産のとちぎ米に関する情報をいち早くお届けします！>

第1号 平成25年4月10日(水)
発行責任者:JA全農とちぎ 米穀課

1. 米麦部長挨拶



JA全農とちぎ 米麦部
部長 中村 昌文

日頃よりとちぎ米をご愛顧賜り誠にありがとうございます。
現在、県内では、4月下旬から始まる田植えに向けて播種作業や耕起作業が順調に進んでいます。

本年も、生産者が丹精込めて作った高品質で安全・安心な栃木米を皆様に年間を通じて安定的にお届けできるよう、集荷数量の向上に向けて各種施策に取り組んでまいります。

また、皆様の販売拡大にお役に立てるよう、販促活動やキャンペーンも充実させてまいる所存ですので、引き続きとちぎ米をお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

なお、皆様と緊密な情報交換ができるよう、4月より東京駐在を2名体制(下記)にしましたので、お気軽にお立ち寄りいただければと存じます。

JA全農とちぎ 米麦部米穀課 東京駐在
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-17-11 榮葉ビル4階
TEL: 03-3518-9807 FAX: 03-5280-6868
チーフ: 長谷川 喬 サブチーフ: 國分 秀光

2. 25年産とちぎ米の課題克服に向けた2つの対策

1 放射性物質対策

24年産水稲においては、加里質肥料の施用を中心とした放射性セシウム吸収抑制対策を実施しました。これにより、本県では食品衛生法に基づく新基準値を超える玄米は検出されませんでした。放射性セシウム「ゼロ」を目指して、25年産についても引き続き、

加里肥料の施用と、15cm以上の深耕で放射性物質の吸収を抑制する対策を推進します。

2 食味・品質維持向上対策

胴割粒、着色粒をなくし、食味・品質の向上を目指します！

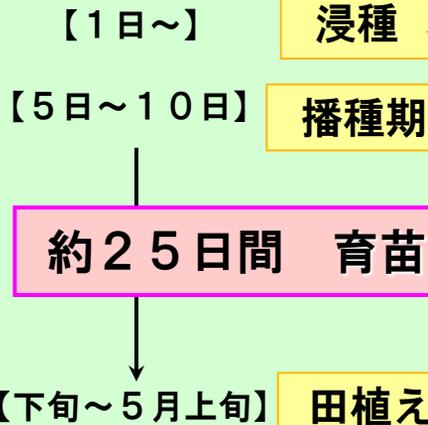
- 耕深の確保、土壌改良資材の施用により、根張りを良くし、元気な稲を育成します。
- 適正な施肥により、養分過多や不足をなくし、良質なお米を育成します。
- 出穂前後の草刈りと、適期防除によりカメムシの被害を防ぎ、着色粒の発生を抑制します。
- 早期落水防止と適期刈り取りにより、粒の充実をはかり、白未熟粒や胴割粒発生を抑制します。
- 玄米水分14.5%を目標にした適正な乾燥により過乾燥・高水分米を防止します。
- 胴割粒・白未熟粒による2等以下の玄米出荷者には『イエローカード』を発行し、栽培改善を進めます。

3. とちぎ米生長日記

栃木県では現在**育苗期**を迎えています。



4月の稲作スケジュール(早植え)



●育苗ポイント!●

①良い品質の種子を購入し、温湯消毒によって苗の諸病害等を防ぎます!

②播種量は少なめに。1苗が太く元気に育ちます!

③丁寧な温度管理を!! ビニールハウスを夜は保温し、昼は換気。

JAグループ栃木のJA米は、信頼の種子更新率100%です!!

4. 信頼される品質確保のために

『**第9回 JAグループ栃木農産物鑑定大会**』が開催されました。

平成25年2月15日に
県内JAから選抜された34名の検査員が参加し、日頃研鑽した米の鑑定技術を競いました。



鑑定方法は、水稻うるち玄米35点、水稻もち玄米5点の計40点の試料を、1人あたり平均10分前後で鑑定。
満点獲得者3名による再決戦を行った結果、受賞者(JA表記)は以下の通りとなりました。

◎最優秀賞◎ JAはが野
○優秀賞○ JAなすの、JAうつつのみや
○敢闘賞○ JAなすの、JAなす南、JAしもつけ

また、各JAで検査を行う実稼働検査員を対象とした持ち回り鑑定会を1月下旬から2月上旬にかけて開催し、JAなすの、JAかみつが、JALもつけが優良JAに選ばれました。

信頼される品質確保対策のため、
《**農産物検査員の育成**》 《**高レベルな技術の維持**》を日々努めています。

※ 問合せ先 ※

◆内容に関する、ご意見、ご質問、ご感想も、是非、お寄せください。

JA全農とちぎ 米穀課 電話:028-626-2174 FAX:028-621-2037